



1 8月4日。全国から大勢の航空ファンが集つ《航空祭》。会場には新型の政府専用機をはじめ各種航空機がずらりと展示され、目玉のブルーインパルスは、真夏の青い空に見事なハートマークを描きました。

2 8月17日。セガサミーグループ、市、体育協会共催の《ミニ運動会》がダイナックスアリーナで行われました。市内少年団の相互交流のため混成された4チームでの競技大会。普段は見知らぬ間でも、元氣よく互いを励ましていました。

3 8月17日。地域の親子の居場所・こども食堂《十彩》(大和1)での夏祭り。手作りの《流しごつめん》に子どもたちも大喜びでした。2年半前、ここから始まったこども食堂も、いまでは3か所で展開されています。

4 8月24日。《農業まつり》が青空公園で開催されました。盛り上がりを見せた《トウキビの早おき大会》など、子どもから大人までが、千歳の「収穫の秋」到来を満喫していました。

5 8月27日。オリンピック大会などを前にした、化学テロなどの対応訓練が行われました。市・消防と陸自第7師団の共同訓練。化学防護服姿での本格的な訓練で、会場のそなえるには緊張感が漂いました。

■ 総論としての自殺対策ではなく《研修》に踏み込んだ今月の特集に思う。深刻な悩みを抱える人に接することは簡単ではない。《寄り添つ》ことには覚悟が必要なのだ。しかし過去の自己形成に立ち会ってくれた人との残念な別れは払拭しがたい。「そばにいるよ」と伝える強さも大切だが、そばにいることが重要なのだと。📌

■ 今年も、サケの遡上の時期がやってきた。「自然が織りなす四季折々のイベントを可能な限り表現したい」と千歳水族館の菊池館長は話す。今月号で菊池館長を取材したが、お話を聞いた半分も書けていないので、館長の魅力を味わいたい方はぜひ水族館へ。運が良ければ館長(クマさんダイバー)バッジが貰えるかもしれません。👉

■ 今月の表紙
今年4月に101歳を迎えた安澤ときよさん。お子さんやお孫さんに囲まれて幸せに満ちた表情です。100を超える年齢を重ねた方の言葉は、一言一言は短くても、重みと豊かさを感じます。これからもずっとお元気で。



8月28日撮影